

第6回アンケートの結果

Q. 二川健氏, 寺沢和洋氏のご講演に関してご感想, ご意見があればご記入ください。

- 人の生活とタンパク質の関係性が理解できました。また、それにより月面で恒久的に生きていくことに対する課題感を感じることができました。
- 映画の世界で気が付かない、宇宙放射線の脅威を改めて感じました。
- 宇宙に住み子孫繁栄させることが容易でないことがよくわかり、地球を大切にすることを考えた方が遥かに重要であることがあたためてよく分かりました。多くの若者たちに教えてあげようと思いました。
- 二川先生のご講演はインパクトが有りました。筋肉量と免疫力に相関があるとのことですが、「筋力の低下をもたらす低重力環境は寿命を短縮する可能性がある」こととなります。地球外で世代交代を伴うコミュニティを作るには、当該現象の程度の確認が必須で、**顕著であると確認された場合は、何らかの対策を講ずることが必須になり、難題だと思えます。** 二川先生は栄養素としての蛋白質の重要性を示されました。一方、確かNHKの番組で、ほぼ炭水化物だけを食しているながら筋骨隆々の人たちが存在し、腸内細菌が働いているのでは？という紹介があったと思います。食糧自体の栄養素だけでなく腸内細菌まで考慮するのは大変ですが、効率が重要な宇宙での食糧生産には一考する価値があるように思います。
- ISSへの滞在や短期滞在の月面基地では、地球からの物資で生活が出来ますが、長期の滞在となると、生きるコト一つをとっても多岐にわたる準備が必要なことを改めて思い知らされました。それ故、必要な活動、物資等のポートフォリオ化と、全体像が見れるロードマップが早急に必要で、それをベースに多岐にわたり企業への参画を要請する必要性を改めて感じております。一方、私ども企業の立場から申しますと、経営層を動かすための参画意義を明確にしておく必要があります。それは大義で済まされるのか、利益を生む必要があるのか…その議論ができるメンバーでの個別会議も必要かと思えます。正直申しまして、**社会的意義は非常に大きいと考える一方で、ビジネスの規模を考えてしまうと、地球上でのテーマと月でのテーマでは規模が違いすぎ、利己的な比較的大手企業は利益では説得出来ない状況**です。個人的には、**大手企業がこぞって参画したいと思わせる何かを明確にして、日本丸として船出が出来るように出来ればと思えます。**
- 宇宙は意外と、若い人に不適だったのですね。来年度の宇宙飛行士の募集、ちょっと真面目に考えます。